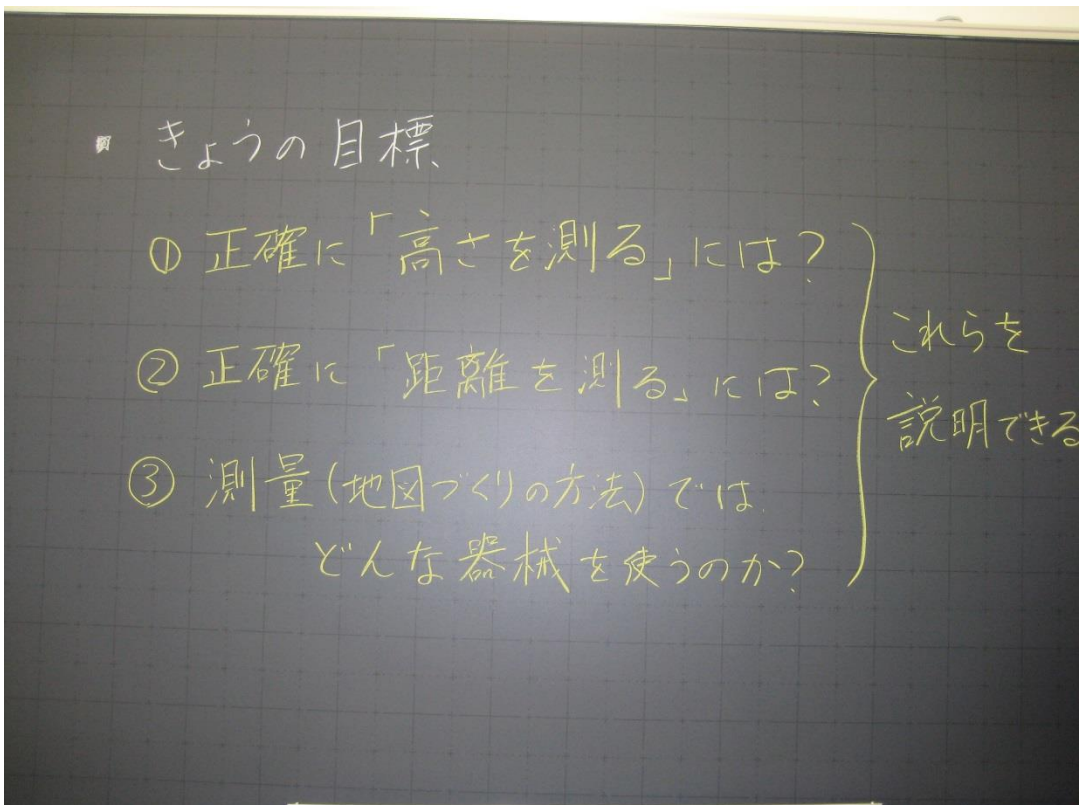


「子ども大学SAITAMA」 測量実習

21世紀の伊能忠敬になってみる！～地図づくりのプロたちから学ぶ3次元測量～
開催風景



芝浦工業大学の中川雅史准教授による「測量ってなに？」の座学からスタートしました。



中川先生から「きょうの目標」が示されました。

座学が終わったところで、いよいよ屋外に出て測量実習の開始です。



正確に高さを測るための測量方法について、真剣に説明を聞いていました。



水準測量の仕組みを理解したところで、実際に電子レベルを覗いてみました。



階段の段差を利用して、高さの違いを測りました。



真剣な子どもたちに、指導する側の説明も思わず熱が入っていました。



正確な距離を測るための測量方法について、メモを取りながら説明を聞いていました。



次に、それぞれの歩幅で20mと思う距離を歩測してみました。



歩測の結果、20mとどのくらい誤差があったのか、
トータルステーションを使って計測しました。



思っていたよりも大きな誤差が出て、思わず苦笑いも。
でも中には、誤差がわずか9mmだった歩測の達人もいました。



レーザースキャナによる3次元計測について、興味深く説明を聞いていました。



撮影した画像をとても熱心に見ながら、最新の測量技術に感心していました。

体育館の中では、UAVのデモ飛行も行われました。



実際にUAVの機体を見て、興味津々の様子でした。



飛行するUAVが撮影した映像をモニターで確認して、最新技術に驚いていました。



測量実習を終えて、全員で記念撮影をしました。



教室に戻り、本日の講座の締めくくりの講義が行われた後、参加した子どもたちからお礼の言葉が述べられました。